

# meguが

2013.5月号 vol.60



編集長の愛犬の3才の保護犬... 2才の保護犬... その秘訣お話しします

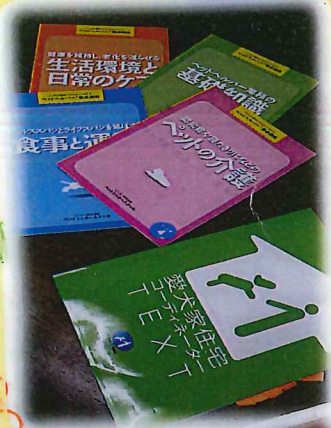


皆様のHappyLifeのために



## ペットアドバイザー-2級 資格取得いたしました

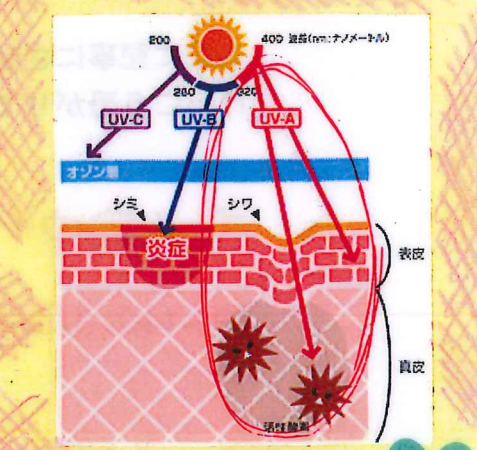
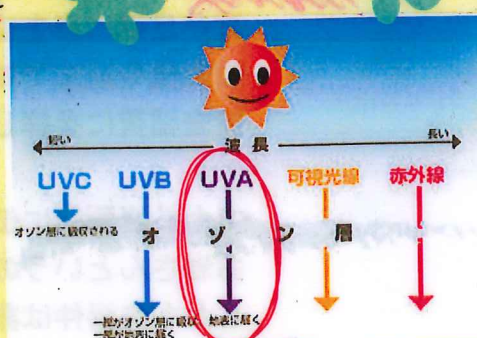
本年1月号で「勉強中」と公表していた「ペットアドバイザー-2級」の資格。Xが60号の節目に「合格は下と」報告でき幸い思は3... 人の高齢化には各対が充実いきが、犬猫の高齢化には認識が深いペットの陰に医療の発達に伴い、ペット寿命10年時代の20年時代の今、長寿は喜ばしいが健康不全の長寿は稀。犬猫も白内障・失明・歩行困難・痴呆症など介護が必要な長寿時代到来。『できることは快適な介護を』を人に『福祉住環境コーディネーター』という「介護士」を介して、バリアフリーをアドバイスし、「建築的目録」で改善実現への橋渡しの存在が重要。ペット高齢化社会に、和自身験験の存在は必要と感じ。そこで、飼主の高齢(障がい)ペット(家族)のHappyLifeをターゲットとした「ペットアドバイザー(介護)+ペット住環境コーディネーター(建築)」という第一人者を自覚。二度両方の資格が整ったこの報告と、お気軽にご相談下さい。素直、例えば水道工事のペットとの相談など、お気軽にご相談下さい。megumaga.imo.wikenka@gmail.com



## 知らないとコワイ 紫外線は5月がピーク!!

実は5月の紫外線は真夏の7月8月と同等の紫外線量(ダ・ジ)です。5月晴れの爽やかな日は、思い切り太陽を浴びてピクニック♪といきたい所ですが...

紫外線には3種類あり、人体に最も悪影響を及ぼすUVAという紫外線が5月、7月、8月に最も多く、皮膚の表皮にとどまり、真皮にまで届いてしまうものですが、表皮にとどまることは日焼け程度ですが、真皮(細胞)にまで届くことは...シミ、シワの原因です...皮膚がんを作り出す力を持っていること。また、白内障の20%は紫外線が原因だと言われています。サングラスが日常的に日本人の白内障が多いのもうなづかせるかもしれません。紫外線が身体奥深く入り込むことは、細胞の破壊...いわゆる活性酸素(身体のサビつき、老化)を増やすこととなります。



活性酸素の多くなると身体は、大変疲れやすく、免疫力も弱くなるため、感染症にかかりやすくなります。日焼けした後、身体がだるい...かぜをひいたなどの経験はありませんか?... と言え、紫外線にはもちろん利点もあり、洗濯物の殺菌・骨を強くするビタミンDを作る助けとなるなど、金をシャッアウトすれば良いというわけはありません。怪しい紫外線の日傘・帽子・サングラス、日焼け止めが日焼け止め... 現在はオゾン層の紫外線と(とてもよく仲良くして)UVBが少なくなると、紫外線は良い季節をお過ごし下さいませ。



「常識・当たり前」は通用しない。

30年前...13ℓ 20年前...10ℓ 5年前...4.8ℓ

さて、何の数字かお解りですか?

正解は『大便を流すのに使用する水の量』です。

TOTOのショールームで、衛生設備機器の進化を見てきました。30年前の便器では13ℓの水を使うのが常識でしたが、現在では3.8ℓで流す便器まで出現しています。

日本の便器は優秀で、30年使ってもほとんど壊れませんが、『生活水の中で、一人当たり消費量が最も多いのはトイレ』とあれば、どこかで交代のタイミングが必要かもしれませんね。

『高齢化社会』に向けての取り組みも目を見張るものがあります。昔は、「便所は片隅に狭く配置する」のが常識でしたが、これからの時代は、それでは通用しないことを実感。近々このようなものが発売されるとか...

TOTO 2013年モデル 戸建住宅 高齢者施設向け

### ベッドサイド水洗トイレ

排せつにまつわる5つの困りごと

- 1 尿意への気づき、自覚心、尿意時
- 2 パンツによる汚物処理の大変さ
- 3 転倒事故発生の怖さ
- 4 オムツ交換によるADL低下
- 5 オムツ交換の介助負担

ベッドの脇、排水管がそこになくてもトイレが設置できる... すべてにおいて、自分の「常識・当たり前」を疑うこと。そのことを教えてもらったような気がします。

ショールーム、ご希望ありましたらご案内いたします!

茶行元 meが編集長 編集長 いたち。 売建設(株) 新宿区新宿1-10-4 電話:03-3350-6689 Fax:03-3350-8186